

麻布消防署管内災害状況

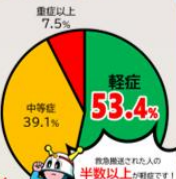
火災件数	48件 (+11)
焼損床面積	60㎡ (+35)
火災による死者	0名 (±0)
火災によるけが人	8名 (-4)
救助件数	123件 (+0)
PA連携件数	1,280件 (+154)
麻布救急隊出動件数	2,906件 (+85)
麻布救急隊搬送人員	2,437名 (+141)

※令和5年1月1日～9月30日の速報値です。
()内は、同期間の対前年比です。

救急車の適時・適切な利用にご協力をお願いします！

令和4年中の東京消防庁管内の救急出動件数は**872,075件**と過去最多となり、救急車が現場に到着するまで、平均で**9分43秒**かかりました。

令和5年の救急出動件数も、令和4年を上回るペースで増加しています。なお、119番通報も増加しており、つながりにくい場合があります。つながるまで切らずにかけ続けるか麻布消防署にお電話ください！



その119番通報、本当に救急ですか？
最病院？救急車？迷ったら…

#7119

東京消防庁救急相談センター

防火防災フェア2023

参加無料！ Participation Free!!

- 消火器での消火体験
- VR体験車での防災体験
- 応急救護 AED体験
- IZUMI GARDEN 火災予防運動
- 10時30分～ 東京消防庁音楽隊 カラーガード隊による演奏・演技

日時：令和5年11月15日(水) 午前10時00分から午後1時00分まで
場所：住友不動産六本木グランドタワー（港区六本木3-2-1）



麻布消防署 飯倉出張所
住所：港区元麻布三丁目4番42号 住所：港区東麻布一丁目30番5号
TEL：03-3470-0119 TEL：03-3584-0119
FAX：03-3470-0149
Email：azabu-info@tfd.metro.tokyo.jp



麻布消防署 検索

令和5年11月 第92号

広報あざぶ

発行：麻布防火防災協会・麻布防災会・麻布防火管理研究会 監修：麻布消防署

AUTUMN FIRE PREVENTION CAMPAIGN

秋の火災予防運動 11/9 11/15

火災から守りたい街がある

火災による死者を防ぐために

- ※寝たばこは絶対にしない
- ※ストーブの近くに燃えやすいものを置かない
- ※コンロの火が袖口や体に触れないように注意

目で確認 声出し確認 火の用心

東京消防庁

東京消防庁公式アプリ Tokyo Fire Department Official App

消防施設やイベント情報も一目でわかる マップ

もしもの時の安心サポート 緊急ツール

参加して集めよう！スタンプラリー

広報あざぶ(第92号)を読んで、右のQRコードからスタンプを集めよう！
※ 秋の火災予防運動 期間終了のため、スタンプの発行も終了しました。ご了承ください。



電気火災が増えています

『小さなこげ跡』でも大きな火災を引き起こす可能性があり、大変危険です！

令和5年1月から9月末までに麻布消防署管内で発生した火災48件のうち、30件(62.5%)が電気火災でした。電気火災とは、電気や電気製品にかかわる火災のことで、電気火災の割合は年々増加しています。

電気コードやコンセント、モバイルバッテリーなど、身近にある電気製品の『小さなこげ跡』を見つけたら、119番通報するか麻布消防署にお電話ください！

東京消防庁では、電気製品の『小さなこげ跡』から、原因を調べて火災予防につなげています。

電気製品のこげ跡を見つけて迷ったら…

東京消防庁版

電気製品火災相談ガイド



リチウムイオン電池の廃棄方法にご注意ください！

スマートフォンやノートパソコン、モバイルバッテリー、電子たばこなどに使用されている『リチウムイオン電池』が、可燃ごみに混ざって捨てられ、ごみ収集車の中でつぶれ発火し、火災になる件数が年々増えています。

港区では、一部の家電量販店などのリサイクル協力店で回収を行っています。リサイクル協力店の情報は、一般社団法人BRCのホームページでご確認ください。

一般社団法人BRC



消防団員募集

入団資格
18歳以上の健康な方
消防団の区域に居住・勤務・通学している方

こちらから入団エントリーできます！

<https://tokyo23city-syoboden.jp/>

東京消防団



自分の街は自分で守る

麻布消防団のなまにろう！！
麻布消防署消防団担当までお問合せください！

【公式】麻布消防団 Instagram
麻布消防団活動を紹介します！

今年も関東大震災から100年の節目!! ～心がけよう地震への備え～

関東大震災による東京市(港区を含む現在の23区の約1/8)の死者・行方不明者は、6万9千人となり、そのうち9割が火災によるものでした。

地域のみならずが実施する“初期消火”で火災による被害を大幅に軽減できます！

近年、全国各地で地震が連続して発生し、局地的に被害が出ています。関東大震災から100年、地震の被害軽減に向けた備え『地震に対する10の備え』を参考に、ご家庭や地域の災害に対する備えを見直してみましょう。



関東大震災100年

幾多の災害を乗り越えてきた東京
備えよう、明日の防災



『いざ』という時のために、日頃から備えよう！

令和5年度 港区総合防災訓練 (麻布会場)

令和5年11月12日(日)

午前9時30分から午前11時30分まで
六本木中学校(港区六本木6-8-16)

詳しくは、
麻布地区総合支所協働推進課協働推進係
(TEL 03-5114-8802)へお問合せください。

地震 に対する 10の備え

身の安全の備え

家具類の転倒・落下・移動 防止対策をしておこう

- ・けがをしたり、避難に支障がないように家具を配置しておく。
- ・家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。

けがの防止対策 をしておこう

- ・食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。
- ・停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- ・散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。

家屋や欄の強度を 確認をしておこう

- ・家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ・ブロックやコンクリートの壁は、倒れないように補強しておく。

初動対応の備え

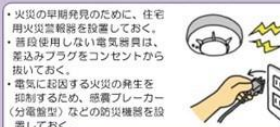
消火の備えを しておこう

- ・火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置き(濡れ防止のため子どもだけで浴室に入れないようにする)をしておく。



火災発生時の早期発見と 防止対策をしておこう

- ・火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- ・普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- ・電気に関する火災の発生を抑制するため、感電ブレーカー(分電盤型)などの防災機器を設置しておく。



非常用品を 備えておこう

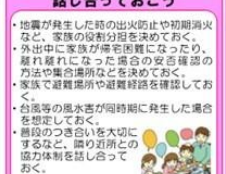
- ・非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- ・冬の寒さなど、季節を考慮した用品を備えておく。
- ・車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにもあるものを活用をしておく。
- ・スマートフォンの予備バッテリー(PSEマーク)など、必要な電気を確保しておく。



確かな行動の備え

家族で 話し合っておこう

- ・地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- ・外出中に家族が帰宅困難になったり、連絡が断れた場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- ・家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- ・台原等の風水害が同時期に発生した場合を想定しておく。
- ・避難のつきあいを大切にすると、隣り近所との協力体制を話し合っておく。



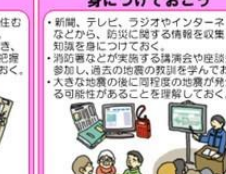
地域の危険性を 把握しておこう

- ・自治体の防災マップ等で、自分の住む地域の地域危険度を把握しておく。
- ・自宅や学校、職場周辺を実際に見学し、災害時の危険箇所や役立つ施設を把握し、自分の防災マップを作っておく。



防災知識を 身につけておこう

- ・新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- ・消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。
- ・大きな地震の後に町営団地の地震が発生する可能性があることを理解しておく。



防災行動力を 高めておこう

- ・日頃から防災訓練に参加して、身体防備、出火防止、初期消火、救出、応急救護、連絡連絡、避難準備などを身につけておく。

